

# 佐野いくお 議会報告

平成29年(2017.1月)冬号

小平市小川西町2-26-21

電話・ファクス 042-308-7303

E-mail: [isano@jcom.home.ne.jp](mailto:isano@jcom.home.ne.jp)

——市政、市議会をもっと身近なものに!——

ホームページ: <http://members.jcom.home.ne.jp/0933499601/>

発行責任者: 木村 半蔵

## 迎春

本年が皆さまにとりまして良い年でありますようにご祈念申し上げます。



ブログ(<http://snipesano.exblog.jp/>)

昨年は世相を象徴する漢字に「金」が選ばれました。3回目なので新鮮味に欠けるなどの意見もあるようですが、オリンピックの「金」メダルとか、トランプの「金」髪などから連想されたこのことです。

トランプ氏と言えば、アメリカ大統領選挙では、誰もが驚きました。予想外のことなのか想定内のことだったのか、選挙とはわからないものです。そして、選挙と言えば、今年4月に市長選挙があり、「3期12年で辞める」と議会で宣言した小林市長は、12月議会に質問されても答えず、議会終了直後に記者会見を行い「4期目も出る」と述べ

たこのことです。政治家が自分の言葉に責任を持たなくなったら、政治不信しか残りません。市民がどのようか判断するのでしょうか。一方、若い現職の市議会議員が市長選に名乗りを上げています。全国では若い市長が沢山誕生していますので、若きリーダーと有能な参謀たちによる新しい市政もいいかもしれません。

さて、今年平成29年度予算は市長選後に新しい市長が肉付する余地を残した骨格予算が組まれる予定です。しかし、昨年度の小平市の経常収支比率(低い方が財政的に弾力性があり、75%程度におさまることが妥当とされている)は、91.8%。肉付けする新しい事業や独自の事業はほとんどできない状態です。この財政状況を改善しないかぎり、誰がやっても同じということになりかねません。新しい市長に期待したいものです。最後にになりましたが、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



小平市議会議員  
佐野 郁夫

## 一般質問

①小川駅西口地区再開発と、小平駅北口地区再開発はいつ始まるのか  
質問①総事業費の見込みは、  
②着工、完成の時期は、  
③現在の課題は。

答弁①小川駅は概ね170億円、小平駅は現時点では把握していないが、小川駅の2倍の面積となることから面積に応じて大きくなると考えている。

②両準備組合から伺っている予定では、両地区とも平成30年度までの都市計画決定を目標に、順調に進むと、平成32年度着工、平成34年度完了を見込んでいるとのことである。

③両地区共、未加入の権利者の合意形成などである。

意見再開発については、地元からどうなっているのかというご意見を多く頂いており、質問しました。

答弁によると、両地区とも同じようなスケジュールで進めようと考えていることが分かりました。小平市は再開発事業を一度も経験していない(花小金井駅は再開発事業ではない)ことから、職員に2カ所同時に行う力が無いのではないかと心配しています。再開発には様々な関係機関との調整や国、都からの補助金確保とその後の監査対応など、知識と経験、人的ネットワークを持った人材が必要で、東京都や23区など、再開発を同時に何カ所もやっている行政の専門家の特命の副市長に据えることが必要ではないかと意見を述べました。事務系の副市長2人制を突然止めた理由は分かりませんが、技術系の副市長の選任ならば2人制でも賛成したいと思えます。また、小川駅西口再開発推進には、いずれ建替えを行わなければならない西部市民センターを再開発ビルに移設すべきと強く訴えま



●再開発はいつになったら始まるのか。市民には状況がなかなか見えてこない。

と心配しています。再開発には様々な関係機関との調整や国、都からの補助金確保とその後の監査対応など、知識と経験、人的ネットワークを持った人材が必要で、東京都や23区など、再開発を同時に何カ所もやっている行政の専門家の特命の副市長に据えることが必要ではないかと意見を述べました。事務系の副市長2人制を突然止めた理由は分かりませんが、技術系の副市長の選任ならば2人制でも賛成したいと思えます。また、小川駅西口再開発推進には、いずれ建替えを行わなければならない西部市民センターを再開発ビルに移設すべきと強く訴えま

②家庭ごみの有料化、戸別収集は何年何月から開始するのか(31年から実施するならば、市民にはつきりと広報し、その準備を今からすべき)

質問①家庭ごみの有料化、戸別収集は、何年何月から開始するのか。

②有料化の日程とプロセスを市民に対していつどのよう公表、周知するのか。

答弁①基本計画では、平成31年度を目途に実施する予定で準備、検討している。②現在、基本方針を検討中で、決定したら、市報やホームページで周知する。

意見市長は、任期中はやりませんと公約しています。多摩地区の殆どの市が実施し、ごみの減量を進めています。また、財政的にも収入としての市民一人当たりの手数料は多摩地区で最下位に近い状態です。プラスチックの処理施設ができないとせっかく分別したプラスチックを燃やすことになりから有料化しないの一点張りです。今燃やしているのだから、すぐにでも有料化して、市民のごみ減量へ

の意思啓発と現実的な減量と収入を得るといふ今やどこの自治体でも当たり前のことやるべきです。もちろん、無料だったのに有料になることへの抵抗はあるので、説明責任を果たすためにも、早く実施時期とプロセスを明示すべきです。ごみ問題でポピュリズム(自分の選挙に勝つために市民の嫌がる施策はやらない)に流されては困ります。



●ごみは出し放題。このままでよいのか。

③市の防災対策は災害時に役に立つのか(総合防災訓練は形骸化して緊張感がまるでない)

質問①今年の総合防災訓練の成果と評価は。

②避難所管理運営マニュアルの整備と避難訓練等の進捗状況は。

③中学生が参加する総合防

災訓練はできないか。④備蓄品の量、保管場所の量を公表できないか。

答弁①本年度は1475人が参加し、参加機関の相互協力の円滑化が図られるなど一定の成果があった。

②小学校5校でマニュアルが完成し、避難所運営訓練を年1回程度実施している。

③今後研究していく。④備蓄倉庫の位置は防災マップに記載している。備蓄品は、10年間かけて購入する。内容や数量等が変化するので、一覧で示すことは考えていない。

意見今年の総合防災訓練は六小で実施されましたが、まるで「総合防災フェスティバル」のようでした。プレスではお土産が配られ、スタンプラリーあり、無料のカレーライスあり、各機関の訓練はデモンストレーションと呼べるような緊迫感のないもので、体験ブースは、気楽に参加してくださいというものでした。市の対策本部テントは空っぽ。いざという時に役に立つのか不安になりました。マンホールトイレも、風が強くて設置できなかったのには呆れてしまいました。



●風が強くて設置できなかったマンホールトイレ。

④都市計画道路3・4・10号小平大和線が府中街道につながるのはいづらなか。

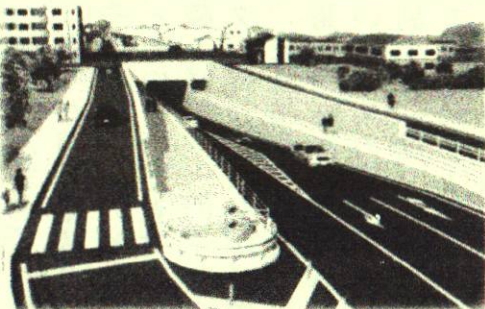
質問①副道の必要性は。

②線路付近の掘削部の歩道の設置はできないか。

③整備による経済効果は。

④事業期間と完成予定は。

答弁①副道設置で、沿道の東西方向の移動が円滑になり、分断された南北の移動も担保される。②階段設置には、計画幅をさらに広げる必要がある。交通管理者と協議の上、設置しないこととした。③事業費は今後、試算を行っていく。地域への経済的効果は数値化していない。④来年3月予定の都市計画決定から事業認可までも相当の期間を要すると考えている。また、認可取得後も



●完成イメージ図(富士見通りから) 説明では完成はおおよそ18~20年後か?

用地取得修了までは、概ね5年から7年。工事期間は未定だが、新小金井街道の小平グリーンロード立体の時は、事業着手から完成まで概ね12年を要している。意見地元で2回行われた説明会で市民の方々から出された質問をそのまま質問しました。その時はつきりしなかつたので、市長に回答を求めたのですが、はつきりしませんでした。質問には答えてほしいものです。また、道路にもとともにかかると、今回の変更でかかるとしまう人、沿道で直接影響がある人、生活交通として間接的に影響がある人、業者など事業に関心がある人など、それぞれの関係ごとの丁寧な説明会が必要だと要望しました。

# 議案に対する各会派の賛否等【結果】

12月議会の主な争点

● 27年度決算は政和会と無会派が認定に反対

反対の理由は、市長の多選自粛宣言について、うやむやにした議会軽視の姿勢、受益者負担やごみ有料化などを重要課題をいたずらに先送りしていること、事業目標未達成のものが多く、と、花小金井武道館の突然の廃止決定など、市民無視の事業姿勢、住居表示事業は反対されたため答申を無視して止めてしまうお粗末な結果を招いたことなどが挙げられました。

● 議場の国旗、市旗を掲揚することを求める請願は、一票差で不採択。(与党の民進党、社民党、共産党、生活者ネット、緑の党が反対)

大学生が素直な気持ちから小平市議会議場に国旗、市旗を掲揚してほしいという請願が出されましたが、反対多数で思いは叶いませんでした。全国で半数以上の議会では掲揚されており、議場という公の場に掲げない理由は見当たりません。



議案番号	市長提出議案 (正式件名ではありません) ※議長(政和会)は除く	結果	政和	公明	フォー	共産	生ネ	緑党	ムサシ
		※27	7	6	6	4	3	1	1
62	27年度一般会計決算の認定について(歳出615億5033万円)	認定	×	○	○	○	○	×	×
63	27年度国民健康保険特別会計決算の認定(歳出203億5179万円)	認定	○	○	○	○	○	○	○
64	27年度後期高齢者医療特別会計決算の認定(歳出37億9072万円)	認定	○	○	○	○	○	○	○
65	27年度介護保険事業特別会計決算の認定(歳出116億4535万円)	認定	○	○	○	○	○	○	○
66	27年度下水道事業特別会計決算の認定(歳出36億6240万円)	認定	○	○	○	○	○	○	○
67	28年度一般会計補正予算(4回目)[5億700万円増額]	可決	○	○	○	○	○	○	○
68	■小平市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	×	×
69	小平市税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
70	青少年問題協議会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
71	廃棄物の減量及び処理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
72	■国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
73	農業委員会の選挙による委員の定数条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
74	空き家等の適正な管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	×	○	○	○	○	×	○
75~78	市道路線の認定について(3件)及び廃止について(1件)	可決	○	○	○	○	○	○	○
79	学童クラブの指定管理者の指定について(四小第一)	可決	○	○	○	○	○	○	○
80	学童クラブの指定管理者の指定について(十小第三)	可決	○	○	○	○	○	○	○
81	有料自転車駐車場(花小金井)の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○
82	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	×
<b>議員提出議案</b>									
15	パナマ文書の徹底調査等を求める意見書提出について	撤回	(委員会総意で新たな議案提出の為)						
21	■パナマ文書の徹底調査等を求める意見書提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○
20	次期介護保険制度改正においての要介護1、2の生活援助等を外さないことを求める意見書提出について	撤回	(委員会総意で新たな議案提出の為)						
22	■次期介護保険制度改正においての生活援助、福祉用具等の見直しに関する意見書提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○
16	米軍人・軍属等への綱紀粛正及び事故、犯罪の防止に向けた実効ある施策を講ずることを求める意見書提出について	撤回	(委員会総意で新たな議案提出の為)						
23	■米軍人・軍属等への綱紀粛正及び事故、犯罪の防止に向けた実効ある施策を講ずることを求める意見書提出について	可決	○	○	○	○	○	○	×
24	政治分野への男女共同参画を推進するための法整備を求める意見書提出について	継続審査	(生活文教委員会)						
<b>請願(3件) 陳情(13件)</b>									
請 6	市における男女共同参画の施策を具体的に進めることについて	採択	○	○	○	○	○	○	○
請 7	小平市議会議場に国旗、市旗を掲揚することについて	不採択	○	○	×	×	×	×	○
請 8	小平市立中央公園内の井戸の修理とその利用について	継続審査	(生活文教委員会)						
陳 14	不要な外郭団体の解散、都職業能力開発校の虐待や排他主義	受理	(13件すべて同じ陳情者) (埼玉県杉戸町在住)						
26	パート解体工事中止等々を求める意見書(13件)								

会派名：政和：政和会(自民、無所属)／公明：市議会公明党／フォー：フォーラム小平(民主、社民)／共産：共産党小平市議団  
／生ネ：生活者ネットワーク／緑党：緑の党(無会派)／ムサシ(無会派)

■印は委員会付託を省略し、即決した議案

第27幕：議会がコケにされました！



※議会という公式の場での発言の撤回は、謝罪とともに議会において行うのが筋です。

生活文教委員会行政視察

①震災復興の状況と防災対策(石巻市)

大震災直後の5月に個人的に訪れて以来、5年半ぶりに市内を見させて頂きました。復興の現状と災害対策基本条例を勉強してきました。

②子ども体験プラザ事業「ステューデントシティ(小学生)、ファイナンシャルパーク(中学生)」(仙台市)

小学生は実際の商店や企業の責任者や従業員になって、仮想通貨で職業と経済社会を体験し、中学生は世帯主になって、一家の収支のやりくりから将来設計、家を買ったり株式投資などを体験する事例でした。



活動日誌



11月の活動日誌

- 1~2日 会派視察 (長崎市、諫早市)
- 3日 議会報告会(花小金井北公民館)・福祉バザー
- 4日 保護司会全体研修ほか
- 5日 四小60周年式典
- 6日 東京都教育委員会表彰式
- 7日 にぎわいまちづくり特別委員会
- 8日 (総務委員会) ほか
- 9日 生活文教委員会審査と調査
- 10日 保護司会広報部会ほか
- 11日 十一市競艇事業組合議会
- 12日 産業まつり
- 13日 産業まつり/健康フェスティバル(薬物乱用防止協議会啓発活動)ほか
- 14日 会派議案説明・会派会議
- 15日 花いっぱい運動の講習会
- 16日 庁舎、議会避難訓練ほか
- 17日 新嘗祭(神明宮)
- 十一市競艇事業組合監査

12月の活動日誌

- 1日 一般質問(二日目)
- 2日 一般質問(三日目)
- 3日 上宿小まつり/しめ縄奉納
- 4日 ラジオ体操2級検定試験
- 5日 会派会議(議案賛否検討)
- 6日 保護司会定例会ほか
- 7日 都市計画審議会/一木会
- 8日 保護司広報部会忘年会
- 9日 五六宮太鼓愛鼓会忘年会
- 10日 野鳥観察会(多摩川)
- 11日 北多摩北地区保護司会
- 12日 小平商工会役員忘年会
- 13日 善行会理事会・忘年会
- 14日 幹事長会議・会派会議
- 15日 議会運営委員会・会派会議
- 16日 JA農産物品評会表彰式
- 17日 ラジオ体操会忘年会ほか
- 20日 十二月定例会(最終日)
- 21日 本会議/会派忘年会
- 22日 冬至 星まつり(神明宮)
- 25日 十三小芝生管理・委員会
- 28日 生活文教委員会打合せ他
- 29日 十二月定例会・本会議
- 30日 一般質問(二日目)
- 18日 (幹事長会議)・会派会議
- 19日 鈴木小40周年式典・祝賀会
- 22日 更生保護顕彰式典(八王子)
- 24日 議会運営委員会・会派会議
- 25日 都市計画マスタープラン
- 28日 全体構想特別委員会

おしらせ

今後の議会予定

- 1月13・17・18・19日 特別委員会(にぎわいまちづくり・公共施設マネジメント・都市計画マスタープラン・広聴広報)
- 2月7・9日 常任委員会
- 10日 全員協議会・研修
- 28日 三月議会(初日)
- 3月1・3日 一般質問会
- 6日 代表質問
- 7・10日 予算特別委員会
- 14・17日 常任委員会
- 28日 本会議(最終日)

編集後記

新年あけましておめでとうございます。毎年の書初めで、昨年は還暦ということ、初心に還る意味で「還」と書きました。今年「挑」です。議員として15年目となる年。初心を忘れず、何事にも果敢に挑戦していきたいと思えます。

今年も毎回議会が終わるごとにこの「佐野いくお議会報告(後援会だより)」を発行し、インターネットでも情報を発信していきます。どうぞよろしくお願います。

頌春

